

通信 シルバー 秩父

平成29年7月20日号

定時総会開催される

去る6月26日(月)平成29年度定時総会が地場産センターにおいて開催されました。当日は一二六名の会員の出席のもと(委任状及び議決権行使書提出による者を含めた会員数は五三三名)、来賓代表として松澤一雄市議会議長、堀口剛秩父公職業安定所所長のお二人からご挨拶をいただきました。

議事については報告事項5件のほか、提案議案一件は、満場一致で可決承認されました。

総会での挨拶

久喜邦康理事長



公益社団法人秩父市シルバー人材センター理事長、秩父市長の久喜邦康でございます。

シルバー人材センターの活動は、高齢者の豊富な社会経験と優れた能力を生かし、センター活動を通じて新たな生きがいの発見と活力ある地域社会づくりに貢献することを目的としております。

昨年度は、平成29年度から33年度にかけての中期基本計画を策定いたしました。目標には会員数を5か年で5%増やすこと、また、就業率、就業延べ人員、契約金額においては、新規受注を含め、取引先の拡充を図ること等を盛り込み、派遣事業を含めた事業の拡充を図ることを掲げております。中期基本計画に基づき事業を行ってまいります。

通信5月号でも紹介しましたが、昨年、秩父市との連携により「ふるさと納税」のメニューに墓地の清掃、空き家見回りサービスが加わりました。県内の自治体では空き家見回りサービスの特典は初とのことですが、昨年の9月2日には空き家の適正管理について市と協定を結んでおります。秩父市シルバー人材センターへの期待の高さがうかがわれます。

今年度も、請負を中心とした就業機会の拡大に加え、補助金の獲得、適正就業の推進のためにも、派遣事業の拡充に力をいれてまいります。

また、地域社会において健康でアクティブな生活を送るといったセンターの趣旨もあり、秩父市のC.C.R.C構想の中に、シルバー人材センターも組み込まれていきます。センターでの活動は、将来への人的支援や医療費の削減につながり、それが地域貢献という成果となります。公益社団法人として社会的信用度は高いため、センター事業を今後とも拡充してまいります。

また、昨年度も引き続き地域の社会福祉活動のため3万633円を市へ寄付しました。シルバーまつりでのバザー売上から捻出したもので、会員の皆様の温かい心を感じ、改めて感謝を申し上げます。

理事長として、会員の皆様方一人ひとりがより充実した活力ある生活が送れますよう、また、このシルバー人材センターという、しっかりとした組織が秩父市の活力の原動力の一翼を担えるよう、努力したいと考えております。終わりに当たり本事業に関連

される各方面の方々には、絶大なご協力をお願いし、今後とも深いご理解と一層のご支援をお願い申し上げますとともに会員皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。挨拶といたします。

総会後、次の方たちが表彰されました。おめでとうございます。(敬称略)

会員20年

神田直子 引間たけ子 堅木和江 岸定義

会員10年

富田博武 深田秋男 瀬川好男 石黒惲 斉藤友康 新井エツ子 小澤惣一 引間都千代 坂本敦住 石井福夫 若林義三 山中カツミ 井上和夫 高野和之 新清治 田村好雄 井上きよ 新井節子 新井光子 平野義次 山口さち子 木村美津子 吉田和か 矢須芳江 深田清 中原秀博 栗原一雄 若林睦子 新井静子 打木保子 山岸嘉文 新井ヨシ子 加藤常次 赤岩加津子 河内恒夫 伊藤宣孝

新会員紹介

次の方たちが新しく仲間になりました。(敬称略)

五月

加藤弘子 浅見正 加藤芳枝 齋藤正雄 大澤幹雄 渡部茂記 大濱昭 山中好子

六月

新井正一郎 富田章 岩田泰江 船崎秀彦 小林春美 浅見孝子 山中幸枝 坂本敬男 黒沢勝明

シルバーまつり

去る6月28日にシルバーまつり第1回実行委員会が開かれ、今年も例年通り実施することになりました。9月10日(日)午前9時から開会式を行い、バザーは9時30分開始予定です。

今年も出店、余興等にぎやかに行きます。出店希望者、余興参加希望者は、調査表(事務所にあります。)を添えて事務所に申し込んでください。

バザー用品の提供を

シルバーまつりで実施するバザーのご協力をお願いします。8月21日(月)から9月7日(木)の期間に各事務所までお持ちください。

職員の異動

6月1日付け退職者の補充のため、有期契約職員の人事異動を行いました。

(退職) 浅海美奈子
(採用) 関根千恵子(写真)

吉田事務所 パート



策定ポイントを簡潔に説明します

中期基本計画の目標 ①

今回からシリーズで3月に策定した同計画の取り組む具体的目標についてテーマ別に説明します。

テーマ…会員数の増強について

秩父市においても人口将来推計では総人口が減少傾向にある。秩父市高齢者福祉計画によれば、平成26年の高齢化率は29.7%であり、10年後は33.2%まで上昇すると予測されている。一方、労働力としてのシルバーへの期待が更に高まっている。これに因應するため会員数を5か年で5%増を目標とする。

会員増のための施策

- ・新規会員の確保 イベント参加を通じてセンターへの入会を促進する。チラシ・リーフレットの作成、市報を活用しセンターをPRする。
- ・女性会員の確保 介護予防・日常生活支援総合事業に関する就業の受注により、特に女性向けの職種拡大を図る。
- ・退会の抑制 ローターション就業やワークシェアリングの徹底により、未就業会員の対策を強化する。独自事業(小物等)業務を希望する会員の活動を後押しして退会を抑制する。

親睦会

グラウンドゴルフ大会結果

平成29年7月5日(水)
於 荒川総合運動公園

優勝 大越喜平 準優勝 新井静子
3位 浜義一 4位 山口さち子
5位 堅木和江 6位 上林靖男
7位 清水アイ子 8位 加藤忠男
9位 上林圭子 10位 磯田千恵子
ホールインワン賞 19名
参加者 38名

会員だより

秩父地方の城跡を巡って四

上林靖男

秩父地方の城跡巡り、四回目は秩父市荒川日野の熊倉(日野)城址を紹介したい。

熊倉城址は埼玉県選定重要遺跡である。城址には日野と白久の両方から行けるが、今回は白久駅から谷津川館の脇を通り、熊倉山途中の城山(標高六四八m)へ登る熊倉林道を進む。暫く林道を行くと車10台程駐車可能な場所に出る。熊倉山への登山口になる城山だ。登山口の反対側に熊倉城址入口と書かれた白い道標がある。整備された階段が続き、とても歩き易い。なだらかな山道を約15分程歩くと平坦な場所に出る。城跡中央の説明版によると、ここに本丸、二の丸、三の丸、空堀、土塁等

の跡が残る山城で、広さ一万一千㎡。城址の外周は急斜面で、前を荒川、左右を谷津川、安谷川、後ろは熊倉山と難攻不落の天然の要害である。

さて、熊倉城にいた長尾景春は、関東管領山内上杉の家老長尾昌賢の子だ。景春は家督相続に不満を持ち、主家山内家に国旗を翻したが、それ以前(一四七五年)に主家の家臣として鉢形城を築城している。鉢形城を追われた長尾景春は北関東を転々とし、最後に熊倉城に籠城。文明12年(一四八〇年)、太田道灌に攻められ落城。熊倉城には井戸がなく、谷津川上流より引水していたが、城攻めの折、発見され落城したと言われている。

日野・白久にはこの戦いにより起こった地名として、馬立、松葉、矢崎、小幡陣、矢の沢、飯米場、大旗等があるという。また、同地区には民話「鳩の湯」も残っている。

さて、熊倉城を脱出した長尾景春は、その後、群馬県渋川市・白井城で晩年を過ごし、一五一四年、72歳で波乱万丈の生涯を閉じたと伝えられています。

会員だよりの原稿を募集します。テーマは自由。気楽な気持ちであなたの思いを書いてみませんか。